

2021（令和3）年度 事業報告

自 2021（令和3）年4月 1日

至 2022（令和4）年3月31日

I 事業概要

2021（令和3）年度は通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

1. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の養成のための教材の作成

愛玩動物看護師法の制定による愛護・適正飼養学等の学習内容をカバーするための愛玩動物飼養管理士教本の改訂作業。

2. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 愛玩動物飼養管理士などの指導者養成事業にかかる広報の拡大展開（ウェブ広告、雑誌広告、専門学校への周知、企業タイアップ、インフルエンサーの活用、SNS公式アカウントの運用等）。
- ② 愛玩動物飼養管理士の活動実績等の顕彰制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士制度の着実な運用。

3. 愛玩動物飼養管理士教育を補完する養成システムの総合的な体系づくりによる適正飼養の普及

- ① ペットオーナー検定の受験者の増加対策及び運用改善。
- ② 各種ペット関連団体を対象にした適正飼養の普及啓発活動推進のための支援事業。
- ③ 機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所への機関誌の配置。
- ④ ペットの実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリスト及び愛猫スペシャリストの事業推進。
- ⑤ ペット共生住宅の整備及び管理運営方法の適正化をするための事業の推進と、ペット共生住宅管理士制度の推進。
- ⑥ 愛玩動物飼養管理士教育を補完するその他の各種教育事業の継続的な検討。
- ⑦ ペットの実践的な飼育手法を広く啓発するための各種書籍・パンフレットの頒布。

4. 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ① 「部課制」による事務局と業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営。

- ② 各々の地域に密着した適正飼養の普及啓発活動を、全国 28 都道府県に所在する当協会の認定連携団体へ委託して実施。
 - ③ 新型コロナウイルス＜COVID-19＞感染症拡大防止対策のマニュアルの改訂と対策実施の徹底をはじめとする着実な BCP（事業継続計画）の推進。
 - ④ ICT（情報通信技術）の活用による、受講受験者・養成学校・当協会の 3 者間における便益と業務効率の向上。
 - －愛玩動物飼養管理士教育課程におけるスクーリングをオンライン（且つオンデマンド）形式とし、必要となる電子教材を作成・更新。
 - －受講受験生及び学校教員用向けに「マイページ」を開設・提供することで、認定試験までの学習進捗を電子的に 3 者間で一括把握。また、合否発表、相互連絡の殆どをデジタル化。
 - －愛玩動物飼養管理士の履修採用校向けに「※AEES」の企画・開発をし、必要となる教材を作成（令和 4 年 3 月末に本格稼働）。
- ※AEES：（Aigandoubutsukyoukai E_Education_ System）当協会が独自開発をした電子的な授業推進支援ツール
- ⑤ 協会のコンピューターデータのセキュリティー保持と災害リスク回避のために、従来の社内ストレージ（NAS）から新規採用した「BOX（クラウドストレージ）」を活用。
 - ⑥ 人材会社を利用した人員補充のシステム化、及び外注への作業委託によるマンパワーの補完。また、災害時等のリスク分散を図るための体制の整備。

II 事業内容

1. 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

1-1 国及び地方自治体の事業への協力

(1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを愛玩動物飼養管理士養成制度採用校及び認定連携団体等に配布及び掲示依頼をし、動物愛護精神の高揚を図った。

② 中央行事

9月25日（土）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催で「私たちがつくるペットとのこれから」のテーマのもとに、開催をした。

<屋外行事>

10月2日（土）の開催に向け計画をしていたが、コロナ禍の収束が見込めず、中止となった。

<屋内行事>

9月25日（土）に台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、各団体の動物愛護作品の表彰、講演、パネルディスカッションを開催した。昨年度につづき、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での屋内行事を Web (YouTube) でライブ配信による実施となった。

(2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

今期においては、新型コロナウイルス感染拡大の問題から、地方自治体が実施する講習会等がほとんど開催されなかった。

1-2 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育事業の実績

2級愛玩動物飼養管理士（41期）及び1級愛玩動物飼養管理士（37期）の通信教育を実施した。愛玩動物飼養管理士の新規受講受験申込者総数は14,669名（1級・2級）であり、前年度比で125.3%（2,957名増加）。

最大受講受験申込者総数があつた平成19年度の12,695名（1級・2級・準2級）との比較では115.5%（1,974名増加）で、協会史上で最高値となった。

内訳は、一般/個人の新規受講受験申込者数が7,305名で前年度比130.3%（1,700名増加）、企業の団体新規受講受験申込者数は192名で前年度比193.9%（93名増加）、スクールの団体新規受講受験申込者数は7,172名で前年度比119.4%（1,164名増加）であつた。

級別新規申込者数		申込枠別の新規申込者数と全体の構成比		
申込級	新規申込者数	申込枠	新規申込者数	構成比 (%)
1 級	1,896 (93)	個人申込	7,305 (1,952)	49.8% (67.0%)
2 級	12,773 (2,818)	団体申込 企業	192 (2)	1.3% (0.1%)
準 2 級	募集停止	団体申込 スクール	7,172 (957)	48.9% (32.9%)
計	14,669 (2,911)	計	14,669 (2,911)	

(カッコ内は夏期申込における新規申込者数)

(2) 2021 (令和 3) 年度認定試験の実施 (11 月、2 月)

春期申込の試験は 11 月 28 日 (日)、一般会場 52 会場、独自会場 12 会場で実施。

夏期申込の試験は 2 月 27 日 (日)、一般会場 13 会場、独自会場 9 会場で実施した。

また、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症対策に向けては、試験運営マニュアルを作成の上、受験者及び試験官の安全確保に向けた取り組みとして、試験教室内の収容人数を半減させ、二部制 (入れ替え制) の実施とした。その実施回数の内訳は、11 月試験が 160 教室において 1 部 2 部合計で 292 回、2 月試験が 49 教室において 1 部 2 部合計で 87 回を実施した。

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1 級	2,143 (285)	1,985 (228)	1,547 (121)	77.9
2 級	14,060 (3,723)	12,636 (3,168)	10,886 (2,593)	86.2
合計	16,203 (4,008)	14,621 (3,396)	12,433 (2,714)	85.0

(カッコ内は令和 4 年 2 月認定試験の内数)

(3) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

① 学校法人等との協力 (指定校・採用校)

愛玩動物飼養管理士養成の新規指定校が 3 校登録され、新規の採用校が 4 校増えた。結果、愛玩動物飼養管理士養成採用校は 114 校、このうち愛玩動物飼養管理士養成指定校は 29 校であった。

<新規の指定校>

専門学校岡山ビジネスカレッジ、北海道どうぶつ・医療専門学校、兵庫県立農業高等学校

<新規の採用校>

大阪ブレーメン動物専門学校、動物園予備校アニマルキーパーズカレッジ、栃木県立栃木農業高等学校、京都つくば開成高等学校

<参考：既存の指定校>

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園穴吹ビジネス専門学校、学校法人宮崎総合学院宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園吉田学園動物看護専門学校、学校法人大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー、学校法人東京愛犬学園東京愛犬専門学校、学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校、学校法人孔明学園東北愛犬専門学校、群馬動物専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、ナンバペット美容学院、名古屋スクールオブビジネス、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

② 企業取りまとめによる受講受験申込

次の9社（新規3社、既存6社）より企業取りまとめによる受講受験申し込みがあった。

<新規の企業>

グローバルペットケア株式会社、株式会社ジョイフル本田、株式会社マルカン

<既存の企業>

エコトレーディング株式会社、株式会社 AHB、ジャベル株式会社、株式会社サンデー、西村ジョイ株式会社、有限会社スーマース

(4) ペットオーナー検定

飼い主に対する初歩的教育及び愛玩動物飼養管理士への導入教育としての「ペットオーナー検定」を、インターネット上での申込受付、受験として実施した。

受験者は277名（犬コース117名、猫コース36名、犬猫同時受124名）、テキストのみの購入者は40名であった。

なお、ペットオーナー検定受験者277名における協会会員加入者数は37名であった。また、これまでのペットオーナー検定受験者3,133名における愛玩動物飼養管理士への受講受験申込者数は621名であり、20%の導入教育効果が認められた。

(5) ペットの実践的な飼育方法の教育

愛玩動物飼養管理士教育を補完するため、ペットの実践的な飼育方法に関する教育を実施した。犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛犬飼育

スペシャリスト講座」を引き続き実施し、今年度の申込者数は1,054（昨年度1,343）名であった。これまでの申込者数の累計は6,323名で、合格者は3,668名となった。

また、2021年2月から開講した「愛猫飼育スペシャリスト講座」については、今年度の申込者数は1,079名であった。これまでの申込者数の累計は1,924名で、合格者は976名であった。

なお、上記両講座の受講生の募集や受付、教材の発送などの業務はユーキャンへの委託方式で実施した。

（6）犬と猫との暮らしの教科書

社会全体としての適正飼養の確保及び推進を図るためには、関係する行政はもとよりペット関連産業従事者をはじめ、動物関連学校生、そして一般の飼い主向けに最新で包括的な情報の伝達と教育が重要である。このため、ペット飼育に関する広範な知識・情報を解説できるようにするための書籍として、『犬と猫との暮らしの教科書』（3,080円・税込・送料込み）を発行し、一般・学校向けに頒布した。

今年度の販売数は128部であった。

（7）ペットの飼養管理

各種動物の実践的飼養管理方法をまとめた『ペットの飼養管理』（3,960円・税込・送料込み）を発行し、一般向けへ頒布しているほか、2020（令和2）年度からの2級愛玩動物飼養管理士の副教材としても活用している。今年度の販売数は87部であった。

（8）人と動物が共存する社会環境基盤整備

① 適正な飼育環境の整備

ペットの適正飼養を推進するためには住環境等の社会環境基盤整備を図ることも重要であることを踏まえ、愛玩動物飼養管理士教育の補完を図るために、ペット共生マンションなどの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』及び集合住宅向けの『飼い主のマナーハンドブック』の頒布や、ペット共生住宅の実現を目指す広がり（動き）を支援するための「ペットフレンドリーホーム宣言（人とペットの豊かな暮らし宣言）」の募集を行った。今年度末の宣言団体は以下の11企業・団体となっている。

<宣言団体>

ハウスリーフ株式会社、オンコ株式会社、アニコム損害保険株式会社、一般社団法人ペットライフデザイン協会、旭化成ホームズ株式会社、タマホーム株式会

社、株式会社住宅工営、株式会社アパートマン、一般社団法人ペットインテリア協会、株式会社西武ペットケア、株式会社リビングライフ

② 適正な飼育環境整備のための知識の普及

『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』、『飼い主のマナーハンドブック』、『ペット共生住宅管理士 理論と実践』の3冊をテキストとする「ペット共生住宅管理士」の検定試験においては、今年度における申込人数は189名、累計合格者は354名となっている。

③ ペットツーリズムにおける適正飼養の確保

ペット・ツーリズムにおける適正飼養の確保等を図るため、昨年度に引き続いて全国ペットツーリズム推進連絡協議会の事務局運営を行った。

(9) 愛玩動物飼養管理士認定委員会・教材等

① 管理士教本の編集

愛玩動物看護師法の制定により愛護・適正飼養学が新設されたことを受け、愛玩動物飼養管理士教本においても、愛護・適正飼養学の学習内容を包含する教本へ改訂すべく作業に入った。完成は2022年（令和4）年12月とし、2023（令和5）年度からの教本とする。

また、愛護・適正飼養学における「動物生活環境学」「ペット関連産業概論」「適正飼養指導論」の新規3科目は、愛玩動物を学ぶ上での履修科目として明確に存在していなかったものであるが、当協会は既に知見を有している領域であったため、即時に別冊にまとめ、年度末には（特に看護師科の教科書にもなりえる便益があるため）スクールの生徒に対して先行頒布をした。

また、今年度は翌年度の2022（令和4）年度教本及び2年後の2023（令和5）年度教本の編集作業を同時平行的に実行した。

② 課題報告問題・認定試験問題の編集

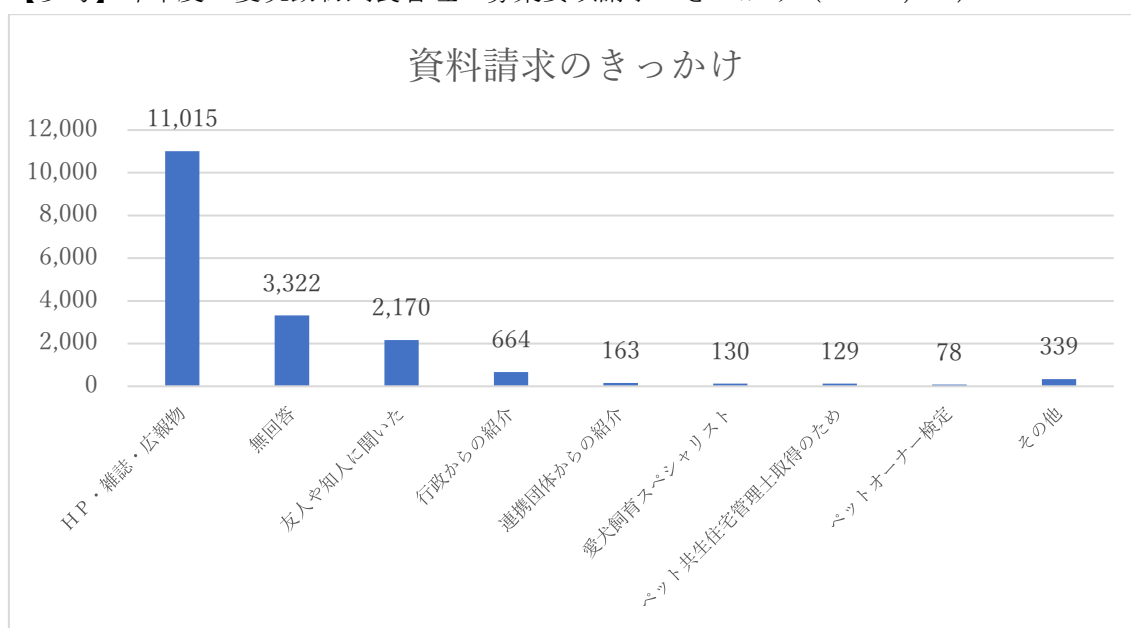
最新版の認定試験問題集の中から、認定試験問題を選定。また、2022（令和4）年度教本の内容に合わせて、課題報告問題と認定試験問題の見直し作業を行った。

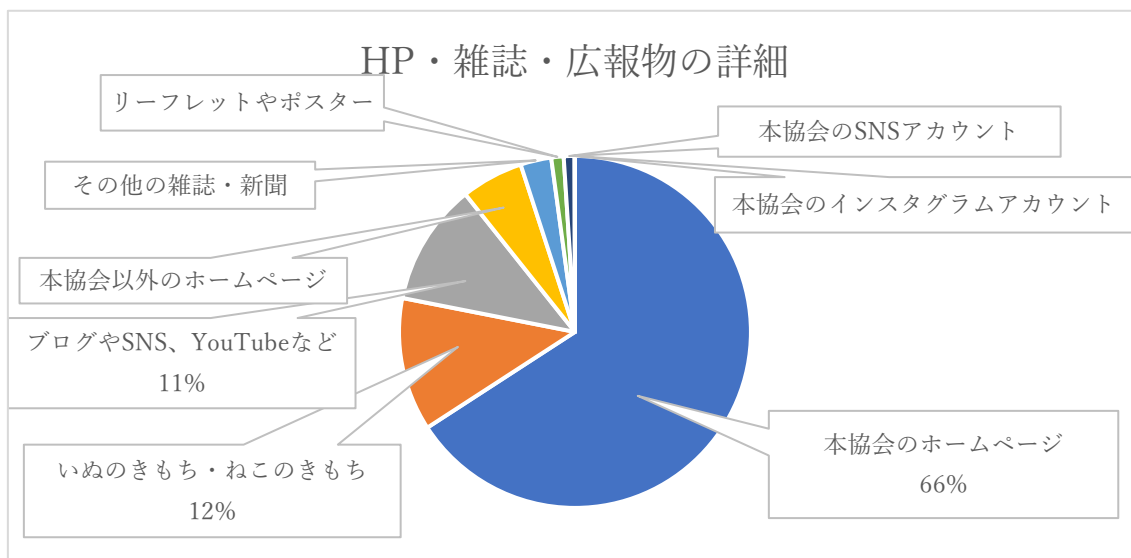
(10) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

① 募集要項パンフレットを見やすく理解のしやすいデザインにするべく、一般用・スクール用共に見直しを行った。

- ② HPのコンテンツ改善とメンテナンスを適宜実行し、閲覧者に見やすく理解しやすいものに整備を行った。令和3年度は、約28万ユーザーからの訪問があり、約96万ページビューがあった。
- ③ 常時リスティング広告を行っており、検索ページにおいては概ね上位表示がされるような取り組みを行った。また、愛玩動物飼養管理士申込期間には、認知を拡大するためにディスプレイ広告・リターゲティング広告も実施した。
- ④ 公式Instagram、ツイッターからの情報発信により、当協会や愛玩動物飼養管理士の認知の拡大を図った。
- ⑤ アフィリエイト（インフルエンサー/ブロガーの紹介告知力を活用した成功報酬型広告）による広報を実施した。
- ⑥ リスティング広告や広告出稿先などの外部ウェブサイトからのリンク先に「ランディングページ（LP）」を設置。そこで「愛玩動物飼養管理士（受験）とは」を簡略に解りやすく説明し、且つそのままの流れで資料請求の手続きを可能としたことで、資料請求者数の増加を図った。
- ⑦ 従前の通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP 学び」に加え、動物に関する資格を紹介する「動物資格ネット」での広報を行った。
- ⑧ 企業とのタイアップ広報として、企業内会員に向けた広報に管理士等の紹介を差し込んだり、著名ペット雑誌を発行する会社と管理士のパブリシティーを組込むことで、管理士の認知力の向上と実際の申込を促進させた。
- ⑨ 広報のフィールドが書籍（雑誌）からインターネット上に傾倒が著しい事実があるが、若干の有力ペット雑誌へ広報活動を行った。

【参考】今年度の愛玩動物飼養管理士募集要項請求のきっかけ（N=18,010）





(1 1) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

ペットの適正飼養の普及啓発に関する実践的な活動の成果を顕彰するため、更新（第1期及び第4期）72名と新規（第7期）3名の合計75名を、上級愛玩動物飼養管理士に認定した。

（令和4年3月31日現在での上級愛玩動物飼養管理士数 141名）

1-3 調査研究及び情報の収集、提供

閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学术论文等の収集と提供を行った。

1-4 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) 電話やメールによるペット飼養相談の受付

電話やメールなどによるペット飼養に関する相談への対応を31件行った。

(2) 第41回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第41回全国ペット写真コンテスト」を実施した。また、昨年度に引き続いて、Instagramによる応募も受け付けを開始した。

環境省、（一社）ジャパンケネルクラブ、（一社）ペットフード協会の後援のもとで実施し、293点の応募作品（応募者数221名）より14点の入賞作品が審査会において選出された。

上位入賞者の表彰は9月25日（土）に中央行事屋内会場（台東区生涯学習センターミレニアムホール）において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを送付した。また、入賞作品は、屋内行事会場および屋外行事会場に展示する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	シンクロ兄弟	清水 菜美	5万円
推選（ジャパンケネルクラブ賞）	何かいいニュースあった？	山岡 知子	3万円
推選（ペットフード協会賞）	内緒話	吉原 久美子	3万円
推選（日本愛玩動物協会賞）	ひっつき虫	西村 理沙	3万円

なお、過去の入賞作品パネルについては、全国の動物愛護週間行事で展示される等の活用が図られた。展示先は次のとおりである。

- ・鹿児島県、郡山市、北海道渡島総合振興局

1-5 調査研究活動への助成

2021年度助成対象者（計3件、120万円）への助成を行った。

研究名	氏名	所属	金額
社会化目的の仔犬教室または服従訓練を受けた飼い主が将来的に発生する問題行動に関するインターネット調査	北里大学獣医学部	北里大学	50万円
災害時の「ペット同行避難」の阻害要因に関する基礎的研究	壽崎 かすみ	龍谷大学国際学部	30万円
獣医療におけるペットと飼い主の抱えるグリーフに配慮したケアを実践するためのアプローチ法の検討	小野沢 栄里	日本獣医生命科学大学	40万円

また、2022年度助成対象者の審査会を開催し、以下のとおり助成候補を選定した。

研究名	氏名	所属	金額
動物医療における抗がん剤曝露に関する意識調査と曝露リスク評価	田川 道人	帯広畜産大学	50 万円
地域猫活動における糞尿被害減少へ取り組みに関する研究－ネコ用公衆トイレが地域猫の行動に及ぼす影響－	妹尾 あいら	広島大学大学院統合生命科学研究科	65 万円
ペット飼育者および飼育経験のない人の人獣共通感染症の認知度およびリスク管理に関する調査	生野 佐織	日本獣医生命科学大学	40 万円

1-6 機関誌等図書印刷物の刊行

(1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

機関誌（隔月発行）を作成して会員に配布するとともに、関係自治体や全国の図書館への寄贈を行った。なお、各号の特集テーマは次のとおりである。

号	テーマ
279号（5月号）	変わる「愛護・適正飼養」
280号（7月号）	学校飼育動物の今
281号（9月号）	ペットの教育・訓練とその施設
282号（11月号）	ワクチンについて知る
283号（1月号）	日本のミュージアムと動物美術
284号（3月号）	ペット用品の生産・販売 ～トレンドについて知る～

(2) 啓発パンフレット等の頒布による啓発

新型コロナウイルス（Covid-19）禍にあったことから、催事等の開催が無く頒布数は限定的になったが、次のとおりのパンフレット等を頒布し啓発をした。

種別	部数
人と動物の防災を考えよう	1,400部
いざというときのために ペットが被災したら	1,500部
被災ペットの救護活動ガイドラインーボランティア活動をされる皆様へー	600部

1-7 会員

会員の新規募集及び継続入会の呼びかけを行い、3月31日現在の一般会員数は、個人会員が12,791人（昨年度末より813人増加）、団体会員が25団体（昨年度より4団体減少）であった。

なお、会員特典は次のとおりである。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	株式会社エデュワードプレス
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリミング・ペットホテル料金の割引	株式会社西武ペットケア
「休暇村」の本館、コテージ、キャンプ場利用料の割引	休暇村協会
全国のプリンスホテルの施設（ホテル・ゴルフ場・スキー場など）の優待利用	プリンスホテル
年会費の税額控除	内閣府
富士急行株式会社関連施設利用料の割引	富士急行株式会社

1-8 寄付金

協会のホームページ等を利用した寄付金募集を実施した。

当年度の寄付金は681,881円であった。

1-9 認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）等の各種プロジェクト活動への支援

（1）認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）

認定連携団体の活動への支援を以下のように実施した。

なお、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での行事の開催を自粛し、オンラインを中心とした活動を行うことを各認定連携団体へ要請した。

団体名	所在地	分野	支援金額
全国 28 認定連携団体 (※)	全国 28 都道府県	当協会定款第 4 条に 定める事業の一部を 都道府県単位で展開	6,549,875 円

※ 認定連携団体の認定状況

2022 年（令和 4）年 3 月 31 日現在

ブロック	認定連携団体のある都道府県
北海道・東北 (4)	北海道、青森県、秋田県、福島県
関東 (6)	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部 (4)	富山県、長野県、山梨県、愛知県、
近畿 (4)	三重県、大阪府、奈良県、和歌山県
中国・四国 (5)	鳥取県、岡山県、徳島県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 (5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計： 6 ブロック / 28 団体	

また、以下の支援も行った。

① 認定連携団体代表者会議

- ・ 2021（令和 3）年 8 月 26・27 日の 2 グループ制でオンライン開催をし、連携団体向けアンケートの回答結果の概要と意見交換、及び事務連絡を行った。
- ・ 2021（令和 3）年 12 月 16 日（木）にオンラインによる会議を実施し、27 団体が出席した。また、各団体の協力会員も参加してのオンライン勉強会と事務連絡を行った。

② 協力会員のボランティア保険への加入

代表の申請に基づき、今年度に活動が見込める協力会員 484 名の加入手続きを行った。

③ 協力会員の募集と登録業務に協力をした。

(2) その他の団体

次のとおり、支援対象事業を決定し、支援を実施した。

団体名	所在地	分野	支援金額
和歌山県愛護教室プロジェクト	和歌山県海南市	飼い主教育・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	280,723 円
一般社団法人マナーニ	東京都港区	ペットとのふれあい	298,767 円

2. その他本協会の事業目的を達成するために行った事項

(1) 関係団体との情報交換等の実施

関係団体と適正飼養の普及啓発事業に関する情報の交換を行った。

(2) 「第33回日本動物児童文学賞」への審査協力

(公社)日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から役員が審査員として協力をした。

(3) 協会の理事及び職員が関係する外部会議及び行事

会議等の名称	関係者・出席者
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
自民党どうぶつ愛護議員連盟総会	協会本部役員
(公社)日本獣医師会総会	協会本部役員
家庭動物飼育環境健全化検討委員会	協会本部役員
動物ID普及推進会議(AIPO)	協会本部役員
日本動物児童文学賞審査委員会	協会本部役員
(公社)日本獣医師会 動物感謝デー企画検討委員会	協会本部役員
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員

会議等の名称	関係者・出席者
各指定校の評議員会等	協会本部役員
環境省中央環境審議会動物愛護部会	協会本部役員
愛玩動物看護師カリキュラム等検討会	協会本部役員
指定登録機関個別 Web システムに設定する犬及び猫の品種・被毛案に係る検討会	協会本部役員
ヒトと動物の関係学会	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

(4) 各種行事への後援等

名称	開催時期	開催地	主催
インターペット 2021 ～人とペットの豊かな暮らしフェア～	4月1日～4日	東京都	一般社団法人ペットフード協会、一般社団法人日本ペット用品工業会、メッセフランクフルト ジャパン株式会社
令和3年度 動物愛護週間行事（沖縄県）	9月20日～26日	沖縄県	沖縄県
令和3年度 動物愛護週間行事（福岡県）	9月20日～26日、	福岡県	福岡県
動物愛護フェスティバル 2021 オンライン	9月25日	オンライン	動物愛護フェスティバル 2021 オンライン実行委員会
動物介在プログラム 基礎講習	11月13日～14日	オンライン	一般社団法人 優良家庭犬普及協会
ペットインテリア展・ペットサローネ	11月17日～19日	東京都	一般社団法人アジア家具フォーラム
ちよだ猫まつり 2022	2022年2月19日～20日	東京都	一般財団法人ちよだにゃんとなる会

3. 組織、会員、会議等

3-1 組織

(1) 役員

< (常) = 常勤 >

役員 (13名)	代表理事 (1名)	会 長	東海林克彦 (常)
	業務執行理事 (3名)	副会長	安部正弘
		常務理事	水口修 (常)、武田和彦
	理事 (7名)	浅野明子、荒井延明、池田毅、石島 力、 対馬美香子、平山淳、光永謙太郎	
監事 (2名)	藤澤省二、岡崎留美		

(2) 相談役、顧問

相談役 (2名)	鈴木松衛、椎野雅博
顧問 (10名)	北村直人、臼井玲子、斉藤久美子、大島誠 之助、川口和清、鈴木 登、天川九二夫、畠 山雅子、福田真由美、山田広美

(3) 委員会

① 愛玩動物飼養管理士認定委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 荒井延明、臼井玲子、対馬美香子、中嶋建介、長嶺隆、藤井仁美、
山崎恵子、若生謙二

② 実践的飼育方法教育委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 臼井玲子、藤井仁美

③ 調査研究助成委員会委員 (委員名は非公開)

(4) 事務局役職員数

(単位：人)

区 分	年度当初	増 加	減 少	3 月末
役員（常勤）	1	1	0	2
職員	7	0	1	6
計	8	1	1	8

<その他の職員> ※ 派遣職員 3 名

3-2 会員数

単位：人・団体数

会員数		2021 年度末	2020 年度末
正会員	個人	64	72
	団体	5	7
個人一般会員		12,791	11,978
団体一般会員		25	29
名誉会員		0	0

3-3 会議の開催状況

① 社員総会

会議名	開催日	審議事項
第 12 回定時社員総会	6 月 10 日（木）	2020（令和 2）年度事業報告の件、2020（令和 2）年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録の件

② 理事会

会議名	開催日	審議事項
第 1 回定例理事会	5 月 10 日（月）	令和 2 年度事業報告、決算及び監査報告について、特定費用準備資金及び資産取得資金について、業務執行報告につ

会議名	開催日	審議事項
		いて、総会の開催について、 上級管理士における認定審査 について
第2回定例理事会	7月8日（木）	愛玩動物飼養管理士の関係規 程の改正について、資産取得 資金について、愛玩動物飼養 管理士教本の改訂及びオンラ イン教材等の整備について、 正会員について、役員につい て
第3回定例理事会	11月18日（木）	中間決算、上半期事業報告及 び監査報告について、業務執 行報告について、国及び地方 公共団体への協力事業の実施 状況について、愛玩動物飼養 管理士教本等の改訂作業の進 捗状況について、旅費・職員 給与（通勤手当）規程の一部 改正について、上級愛玩動物 飼養管理士の認定について、 指定校の新規認定について、 準備資金の新設について、連 携団体の認定及び予算執行に ついて
第4回定例理事会	3月22日（火）	愛玩動物飼養管理士認定試験 （令和4年2月）の合否判定 について（追認）、愛玩動物 飼養管理士教本等の改訂作業 の進捗状況について、適正飼 養推進プロジェクト支援・調 査研究助成について、令和4 年度予算及び事業計画につい て（資金調達及び設備投資の 見込みを含む）、令和4年度 定期社員総会の開催につい

会議名	開催日	審議事項
		て、正会員・認定委員会委員について、業務執行理事について、職員人事（業務部長について）、連携団体の認定及び予算執行について、各種規程の改正について、業務執行報告について

③ 業務執行理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回業務執行理事会	4月22日（木）	令和2年度事業報告、決算及び監査報告について、特定費用準備資金及び資産取得資金について、業務執行報告について、連携団体について、ペットセミナー（仮称）について、教本の改訂等について、第1回理事会（5月10日）の議事について、総会の開催について、カードサイズ（携帯型）認定証について
第2回業務執行理事会	5月20日（木）	第12回定時社員総会の開催について、看護師法制定に伴う管理士事業の対応について、愛玩動物飼養管理士認定細則の改正について、夏期賞与について、連携団体について、ペットセミナー/ペットライブラリー（仮称）について
第3回業務執行理事会	6月3日（木）	定時総会の開催について、教本の改訂等について、正会員等について、地方協会（連携団体）について、ペットセミナー（仮称）について、上級

会議名	開催日	審議事項
		愛玩動物飼養管理士の審査の件について、新規指定校（3校）承認の件について
第4回業務執行理事会	6月10日（木）	定時総会の開催について、ペットセミナー(仮称)について、正会員などについて、連携団体について
第5回業務執行理事会	7月1日（木）	認定委員・正会員等について、ペットセミナー（仮称）について、連携団体のブロック会議について、資産取得資金について、役員について
第6回業務執行理事会	7月5日（月）	資産取得資金のうちの土地購買価格について
第7回業務執行理事会	7月29日（木）	連携団体の全国代表者等会議について、資産取得資金について、動物専門学校等向けの副教材と授業支援ツール（アプリ）について、国及び地方自治体への協力事業について
第8回業務執行理事会	8月19日（木）	連携団体の全国代表者等会議について、資産取得資金について、国及び地方自治体への協力事業について、2021（令和3）年度の受講受験者数について、上級愛玩動物飼養管理士認定申請者審査の追加について、次回理事会（中間決算報告など）の開催日程について
第9回業務執行理事会	9月30日（木）	愛玩動物飼育管理士教本の改訂作業の進捗状況について、愛玩動物飼養管理士の受講受験者数とスクーリングの実施結果について、理事会の議題

会議名	開催日	審議事項
		について、協会隣接地について
第 10 回業務執行理事会	10 月 21 日（木）	上半期事業報告及び中間決算について、新型コロナに対する行動制限緩和について(職員・連携団体)、理事会での業務執行状況報告、連携団体向け年末会議の開催の有無について(勉強会+事務連絡)、連携団体向け支払い項目(管理手数料・リース料・事務所費)撤廃の件、交通費実費精算の再確認、宿泊費の実費精算の規程化(理事会へ)、ICT(e-補助教材・e-スクーリング教材)向け特定資金積立について、職員への賞与（令和3年冬支給分）の増額について
第 11 回業務執行理事会	11 月 11 日（木）	中間決算及び上半期事業報告の監査結果について、12 月賞与について、理事会（11 月）の議事次第について、旅費・職員給与（通勤手当）規程の一部改正について、準備資金の新設について、連携団体の認定及び予算執行について、協会隣接地について
第 12 回業務執行理事会	12 月 16 日（木）	愛玩動物飼養管理士教本の改訂などについて、愛玩動物飼養管理士 11 月試験の合否決定について（追認）、連携団体代表者会議について、千葉県愛玩動物協会からの承認依頼の件

会議名	開催日	審議事項
第13回業務執行理事会	1月27日(木)	愛玩動物飼養管理士教本の改訂などについて、適正飼養推進プロジェクト支援・調査研究助成について、令和4年度事業計画・予算について、正会員・認定委員会委員の追加について、連携団体の活動実績評価について、次回の理事会について、敷地外壁等についてなど
第14回業務執行理事会	2月3日(木)	各種委員等について、連携団体の認定について、AEESの利活用について
第15回業務執行理事会	3月7日(月)	事業計画及び予算について(資金調達及び設備投資の見込みを含む)、各種委員等について、適正飼養推進プロジェクト支援について、連携団体の認定について、各種の規程の改正について、各種準備資金規程について、理事会の議事及び定期社員総会の開催について、2022年度(R4)年度人事、協会の西側の土地に対するコンテナ設置について

④ 各種委員会

委員会名	開催日	審議事項
第1回愛玩動物飼養管理士認定委員会	4月1日(木)	教本改訂について

委員会名	開催日	審議事項
第2回愛玩動物飼養管理士認定委員会	5月24日(月)	2023年度教本の目次構成について
第3回愛玩動物飼養管理士認定委員会	7月27日(火)	2022年度教本の点検について、2022年度課題報告問題並びに認定試験問題の点検について(諮問)
第4回愛玩動物飼養管理士認定委員会	12月2日(木)	認定試験(11月)の合格者の決定について、2022年度の課題報告問題と認定試験問題について(答申)
第1回調査研究助成委員会	12月6日(月)	2020(令和2)年度助成対象者結果報告、2022(令和4)年度調査研究助成申請者審査会
第5回愛玩動物飼養管理士認定委員会	2022年3月3日(木)	認定試験(2月)の合格者の決定について、2023年度の愛玩動物飼養管理士教本について、2023年度の課題報告問題及び認定試験問題の点検と新規作成について(諮問)、2023年度からのスクーリングの科目について

Ⅲ 事業報告の付属明細書

2021(令和3)年の事業報告の付属明細書は、補足すべき重要な事項がないことから、作成をしていない。

以上